



MUTEKIBARRIER

# ムテキバリア取扱説明書

この商品は一般家庭で調理するために使うものです。

正しく安全にご使用いただくために、この取扱説明書を必ずよくお読みの上、必ず保管してください。

IHクッキングヒーターでご使用の場合は、IHクッキングヒーターの取扱説明書もあわせてお読みください。

## ▲ ご使用いただく前に

- 取っ手の取り付けに破損やぐらつき等の不具合がないことをご確認ください。
- 本体にシールが貼ってある場合は剥がしてからご使用ください。
- 最初に使用する時は食器用洗剤を付けて、スポンジ等で十分に洗います。すぐに水気を拭き取ってください。

## ▲ 警告 安全にご使用いただくために

- 熱源を入れて「強」で加熱されますと急激に鍋底を加熱し、引火点に達することがあり少量の油を入れたとき、引火する危険があります。又、油がこげついたり、鍋底が変色や熱膨張により変形する原因になります。火力の調節(中以下)を行ってください。

## ▲ 注意 安全にご使用いただくために

- 油をひいてご使用ください。
- 調理中や調理の直後は本体が熱くなっています。火傷の危険がありますので注意してください。又、幼児の手に触れないようにしてください。
- 加熱器具の中央部にのせて安定させて使用してください。
- なべの中に料理を保存しないでください。塗装のはがれや腐食の原因になりますので他の容器に移してください。
- 取っ手は熱くなる場合があります。ミトン等を使用してください。
- 加熱・冷却の繰り返しにより、ご使用中にネジ止めされた取っ手がゆるむことがあります。そのままご使用になりますと、取っ手が脱落して火傷の危険があります。確実にネジを締め直してご使用ください。
- 樹脂製の取っ手が使用により劣化し、変形やふくれ、ひび割れが生じることがあります。脱落によるやけどなどの事故の恐れがありますので、ふくれ、やけど、ひび割れが生じた場合はご使用にならないでください。
- 縁まで材料や油等を満たした状態で使用しないでください。
- 空だきは絶対にしないでください。火災や本体の変形、取っ手の破損の原因となります。又、必要以上の加熱や急冷は塗膜や本体底面の寿命を縮める原因となります。
- 予熱をする場合は、加熱時間を1分以内にしてください。長時間の予熱は空だきになります。
- なべの中で食材が触れない部分は空だきになりますので、ご注意ください。
- 吹きこぼれ、煮こぼれしないように使用してください。ガスの火が消えたり、調理器の故障原因となります。
- 酢等の酸性のものや、重曹等のアルカリ性のもので使用は避けてください。
- 塗膜保護のためにも火力は中以下で使用してください。
- 金属製の調理器具を使用される際は、縁部分が丸いなめらかなものを使用してください。より長くお使いいただくためには、プラスチック製又は木製の器具を使用されることをおすすめします。
- 塗膜の表面で材料を刻んだりすることは避けてください。
- 油の過熱により火災の危険があります。調理中に場所を離れる時は必ず火を止めてください。
- 天ぷら等の料理に際しては、油の温度を200度以上に上昇させないでください。
- 揚げ物にお使いになるときは、火災ややけどの危険がありますので、下記の点にご注意ください。
  - ・油量は本体の深さの半分以下にしてください。
  - ・短時間に油の温度が上昇し、発火する恐れがありますので、調理中は絶対にそばを離れないでください。
  - ・ふたをしないでください。油の温度が過度に上昇し、危険です。
  - ・水や水気の多い材料はできるだけ入れないでください。油がはねてやけどなどの恐れがあります。
- 落としたり、ぶつける等の急激な衝撃を与えないでください。
- 空だきをした場合に水等をかけて急冷しないでください。変形の原因になります。
- ストープの上では使用しないでください。
- オープン・電子レンジでは使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。
- お使いの加熱器具の取扱説明書をお読みになり、正しくご使用ください。

## ▲ 警告

- 加熱中に火元を離れないでください。
  - 空だきはしないでください。
- 火災の原因になります。

## ▲ IH(電磁調理器)・クッキングヒーターで使用するときのご注意

- 効率よく加熱して頂くために、鍋の底の付着している水滴はきれいに拭き取ってください。
- 熱源を入れる時「中」以下で火力(出力)の調節を行ってください。
- トッププレート(天板)に置いたまま、本品をずらしたり、あおったりしないでください。摩擦や衝撃の影響によりトッププレートに傷が付くおそれがあります。
- IHクッキングヒーターで調理中に振動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。フライパンの位置を置きかえたり火力を調節してください。

## ▲ ガスコンロで使用するときのご注意

- コンロの中央に置いて、炎が底面より大きくならないように火力を調節してください。炎により取っ手が熱くなり、やけどの恐れや、取っ手が損傷し、脱落によるやけど等の事故の原因にもなります。また、熱の影響により異臭発生の原因となります。



- 隣接するコンロの炎が取っ手に当たらないよう向きを調整してください。
- 転倒防止の為、鍋の取っ手とコンロのごとくのツメの方向が同じになるようにのせてください。
- ごとくの形状や調理量によっては転倒することがありますので、取っ手を持ちながら調理するようにしてください。
- 空の状態の鍋をごとくの上に置かないでください。転倒の原因になります。

## ふっ素加工について

- 絶対に空だきをしないでください。塗膜が損傷し料理がこびりつきやすくなります。
- 予熱をする際は、火力(出力)の調節(中以下)を行ってください。必要以上の過熱は塗膜の寿命を縮める原因になります。
- 表面には目に見えない微細な孔(ピンホール)があります。調理物を入れたままにしておきますと油や調味料などが浸透して塗膜が浮き上がりはがれる要因となります。防ぐためにも調理物を保存しないこと、使用後はきれいに洗うことが大切です。又、空だきや調理器具などによって損傷しはがれることがあります。
- 塗膜は食品衛生法の規格に適合しており、長時間の使用において、万一傷ついてはがれ体内に入っても吸収されずそのまま体外に排出されますのでご安心ください。

## ▲ お手入れについて

- 使用後は食器用洗剤を付けて、スポンジ等でよく洗い、早めに水気を拭き取って乾燥させてください。
- 汚れがこびりついたりしている場合、しばらく熱湯に浸してから取り除いてください。金属製の固いもので取り除かないでください。
- 塩分や酸等を含んだ汚れを付着したまま放置したり、湿気の多い場所での保管は錆発生の原因になります。
- 漂白剤及び塩素系洗剤を使用しないでください。
- スチールたわし、磨き粉等を使用しないでください。特に塗装面が傷付いてはがれる原因になります。
- 取っ手を含む全体を水に浸して丸洗いしないでください。取っ手の中に水がたまり、取っ手内部の止めネジの腐食の原因になります。
- 食器洗い乾燥機には使用しないでください。
- ステンレスや鉄等の異種金属製品と接触したまま放置しないでください。錆の原因になります。

この度は当社の製品をお買い上げくださりまして、誠にありがとうございます。製品には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合には、当社お客様サービスセンターにお問合せください。

Made in KOREA

SINCE 1956

販売元 **協和工業株式会社**  
大阪市西淀川区佃1丁目24番11号

お客様  
サービスセンター

TEL: (06) 6471-3539 FAX: (06) 6471-4668  
受付時間 10:00~12:00、13:00~16:00 (土・日・祝日は除く)